

3、研究主題に関わって

ひとり歩きができる子が育つ授業の創造

～自分の考えの足場を持ち、自分の学びを深める子を願って～

3年生の目指す子どもの姿

- ・教科書の記述をもとに、自分の考えを持とうとする。
- ・自分の考えたことや感じたことを、ノートに書くことができる。
- ・学びを確かめることができる。
- ・自分の考えたことや感じたことを、話型に基づいて伝えることができる。
- ・仲間の考えを聞いて、自分の考えが深まったことがわかったり、さらに追求への見通しを持ったりすることができる。

研究の視点

	学期	目指す子どもの姿	手立て	振り返り
考えの足場	1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート作りの基本がわかる子 ・言われなくても授業の始めにノート作りに取り掛かることができる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間、音読の時間をとる ・ノートに日にち・題名・課題を書く ・黒板に課題を明記する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートに日にち・題名・課題が書けるようになった。課題も赤で囲むことができた
	2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えたことを屋感じたことを、ノートに書くことができる子 ・教科書の記述をもとに、自分の考えを持とうとする子 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を明確にして臨む。 ・ノートに書き方を提示する ・考えたことや、感じたことを書く時間をとる ・授業の終わりに振り返る時間をとる 	
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・学びを確かめることができる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との学びからつかんだことをノートに書かせる ・課題に対しての評価を書くことができる 	
伝え合う場	1学期	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の話最後まで、静かに聞くことができる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞くための基本姿勢をつくる 最後まで聞く。話す人の方を向く。反応する。手遊びをしないで聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の頃よりはよくなってきているが、まだ静かに話が聞けない。継続して取り組む必要がある
	2学期	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えたことや感じたことを、話型に基づいて伝えることができる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の話したことに反応させる ・話型を身につけさせる ・「足場」をもとに、ペアでの交流・全体交流などを取り入れて、どの子も伝え合うことができるような場を設ける 	
	3学期	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の考えを聞いて、自分の考えが深まったことがわかったり、さらに追求への見通しを持ったりすることができる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートに書いた友達との学びからつかんだことや、課題に対しての評価を仲間と交流する時間をとる 	

自分の考えを持ち、関わり合って学ぶことができる子を目指すための手立て

課題を明確にして臨む

交流が生きる課題を提示する

読みとりの手立てを提示する

何度も読む。(役割読み、一文交代読み、男女交互読み、先生と一文交代読み、ペアで一文交代読み、班で一文交代読みなど)

課題に対する答えだと思われる分野言葉を見つけ、教科書に線を引く。(会話「 」から、登場人物の行動から、まわりの様子から、前の場面とつなげて)

線を引いたところをノートに書き出す。

書き出したこと炉を手がかりに、考えたことを書く。

グループ交流の仕方 話型 を提示する

(例) 司会者「これから～について交流します。」

(お願いします。)

「～さんお願いします。」

(考えを発表する。)

「質問はありませんか。」

(～について質問します。)(ありません)など

「付け加えることはありませんか。」

(～さんに付け加えて、～)(ありません)など

「交流して思ったことや、学んだことをノートに書いてください。」

交流から学んだこと 課題に対する評価 を全体交流する